

第50号  
2022年5月

# 高梁市議会だより



「健幸都市たかはし」の実現に向けて

重点項目を審議!!



質疑ピックアップ!

新消防庁舎整備事業 約4億4550万円

総務文教  
委員会この政策に期待!  
DX推進アドバイザー  
事業

400万円



委員会では、所管する新消防庁舎建設に関して、実施設計が遅れている理由と土地購入費の2倍以上に計上されている工作物等移転補償費について質疑がありました。実施設計の遅れは基本設計に職員の意見を取り入れる作業に時間を使っているものであり、スケジュールの遅れにはつながない。また、工作物移転補償費は解体費、移転補償費、営業補償費の概算で計上している。業者に委託して調査をしたうえでの算定であり適切であると判断していると説明がありました。

産業経済  
委員会

この政策に期待!

新規就農総合対策事業  
2667万円

質疑ピックアップ!

高梁市国民健康保険成羽病院事業会計予算について



質疑ピックアップ!

空港～高梁直行バス運行事業 1100万円

市民生活  
委員会この政策に期待!  
若い世代の  
定住促進の強化

1億840万円

高梁市川上医療センターについて、成羽病院の付属施設に移行する方向性が示されたことから、今年度策定する経営強化プランについて質疑がありました。執行部からは、病床再編や経営見直しに加えて、医師の働き方改革、感染症拡大に関する平時からの対応について検討する。また、西部地域の医療については成羽病院が基幹となつて考えていくとの答弁がありました。

令和2年度に約1億円の欠損金が出ており、令和3年度もある程度の欠損金が予想されることから今後の経営について質問があり、付属施設の範囲が広がることで基準内繰入のみで対応できない際には一般会計からの補填をお願いしました。



「シビックプライド」

地域をより良い場所にするために、自分自身が関わっているという当事者意識や自負心。移住した町にも向けられるため郷土愛とは別の意味で使われる。



「シティプロモーション」

地域の魅力を内外へ発信し、人・モノ・金を呼び込み、その地域の経済を活性化させる活動のこと。

## 「健幸都市たかはし」の実現に向けて

## 令和4年度予算審議

令和4年3月4日から24日までの21日間、令和4年第2回3月定例会が開催されました。市長からは議案53件が提出され、議案は全て可決しました。また、追加で人権擁護委員に関する人事案件が提出され、適任としました。



令和4年度予算は、令和3年4月にスタートした「高梁市総合計画」で掲げる都市像「健幸都市たかはし」の実現に向け、まちづくりの5つの基本方針と横断的政策である「人口減少対策」「災害に強いまちづくり」、「未来革新技術の活用」に基づく取り組みを一層推進するものとなっています。

一般会計予算は253億2千万円、11の特別会計予算は合計で約102億6千万円、上水道等の公営企業会計が合計で約54億5千万円で、全体では約409億9千万円となり、令和3年度とほぼ同規模の予算となっています。

一般会計の歳入は75・87%が依存財源であり、昨年より幾分改善したとは言え依然厳しい状況では海外からのインバウンドの観光客を見込むのは厳しいのではないか」との意見がありました。

次ページ以降においては、各施策について、岡山空港から吹屋への直行バス便が計画されています。首都圏でのPRやリサーチが十分できているのかという質問がありました。「コロナ禍がまだ収束していない状況では海外からのインバウンドの観光客を見込むのは厳しいのではないか」との意見がありました。

常任委員会ごとに、主だった議案質疑内容を紹介します。



キーワードは 定住 観光 DX



「DX」

デジタルトランスフォーメーションの略語。デジタル技術を効果的に活用し、組織の仕組みを戦略的・構造的に再構築していくこと。

# 高梁国際ホテルの今後を考える

議案5件のうち、令和4年度一般会計予算に反対し、他の議案には賛成する。予算には引き上げられた各種利用料や会場使用料が含まれ、地域局の土・日の日直制度が廃止されるなど市民サービスの低下がうがわれる。あわせて吉備国際大学や市立図書館の指定管理委託料が優先的に予算組され、（株）吉備ケーブルテレビや（一社）高梁市観光協会など、一部の企業、団体への事業委託が散見される。市が進める「指定管理者制度」は監視体制の弱体化や情報公開が欠落し、また働く者を低賃金に追い込み、地域経済を低迷させるなど問題がある。消防署の移転や落合幼稚園の閉園など、市民や地域、利用者や議会にも相談や報告がないままに決定される事案が受けられ反対するものである。

## 経営計画書を作成中

令和4年1月21日に議会全員協議会が開催され、2月11日に満了する市と（株）高梁国際ホテルの契約期間が20年という長期の建物等賃貸借契約を半年間程度延長する」とが報告されました。

平成16年10月の合併以前のこともあり、高梁国際ホテルが市の財産であることをご存じでない

方もおられるかと思われます。土地、建物等施設は市の普通財産であり、現経営陣に建物等賃貸借りで貸付し、経営が行われています。したがつて仮に、施設の大規模な修繕が必要とされる場合は、市の負担で行われます。

感染症の影響が最も大きいことは言うまでもありませんが、高梁国際ホテ

ルを取り巻く経営環境は非常に厳しいものがあります。

そこで、契約の更新に当たり、市から同ホテルに対して、生産性の向上、地域貢献、収益性の向上などの基本戦略、また、外部人材の登用による経営改革、関係団体との協議連携の部分について十

分に計画に盛り込むよう

要望がなされています。

議会としても都市機能

の一部としてのシティホテ

ルの在り方に鑑み、高梁

国際ホテルから提出され

る経営計画書に基づく契

約の内容について、今後

多角的知見から精査する

ことになると思われます。



## 高梁国際ホテルの経緯

昭和 60年	高梁駅周辺開発懇談会を設置
平成 7年 2月	（株）輝ノ家が進出の意向表明
7年 5月	（株）高梁国際ホテル設立（株）輝ノ家が母体）
8年 7月	土地使用貸借契約締結
8年 8月	高梁国際ホテル建築着工
9年 8月	高梁国際ホテル開業
12年	返済能力低下による経営危機
13年12月	市が建物を買い取る
14年 2月	経営者を交代し再建へ 新経営者と建物賃貸借契約締結
19年 2月	土地使用貸借契約期間満了、 建物賃貸借契約を建物等賃貸借契約に改める
令和 4年 1月	議会全員協議会で半年間の契約延長を報告 現在に至る

## 討論

議案5件のうち、令和4年度一般会計予算に反対し、他の議案には賛成する。予算には引き上げまれ、地域局の土・日の日直制度が廃止されるなど市民サービスの低下がうがわれる。あわせて吉備国際大学や市立図書館の指定管理委託料が優先的に予算組され、（株）吉備ケーブルテレビや（一社）高梁市観光協会など、一部の企業、団体への事業委託が散見される。市が進める「指定管理者制度」は監視体制の弱体化や情報公開が欠落し、また働く者を低賃金に追い込み、地域経済を低迷させるなど問題がある。消防署の移転や落合幼稚園の閉園など、市民や地域、利用者や議会にも相談や報告がないままに決定される事案が受けられ反対するものである。

令和4年度一般会計予算に反対

石部 誠 議員

全ての議案に賛成

金尾恭士 議員

議員研修を開催しました  
機能する一般質問とは

議案5件のうち、令和4年度一般会計予算に反対し、他の議案には賛成する。予算には引き上げられることを要望する。30年災害の復旧復興工事は着実に行われているが、市民の防災意識の向上を一層高めていくことが必要。「防災マップ啓発事業」は市民に分かりやすく伝えてもらいたい。公立病院の経営強化については改善の指針が策定され、川上医療センター・ひだまり苑において、引き続き旭川荘の医療介護が受けられることに安心している。新型コロナが収束し、備中松山城や日本遺産吹屋が賑わいを見せ、交流人口が増え、移住定住に繋がることを願う。有漢義務教育学校の今後や、幼稚園・こども園の再編については広く保護者や地域の声を聞き、より良い方向を示して欲しい。

全ての議案に賛成の立場から討論する。約253億円の一般会計予算は、市民の生活や生業に役立てられる」とを要望する。

30年災害

の復旧復興工事は着実に行われているが、市民の防災意識の向上を一層高めていくことが必要。「防災マップ啓発事業」は市民に分かりやすく伝えてもらいたい。公立病院の経営強化については改善の指針が策定され、川上医療センター・ひだまり苑において、引き続き旭川荘の医療介護が受けられることに安心している。新型コロナが収束し、備中松山城や日本遺産吹屋が賑わいを見せ、交流人口が増え、移住定住に繋がることを願う。有漢義務教育学校の今後や、幼稚園・こども園の再編については広く保護者や地域の声を聞き、より良い方向を示して欲しい。

○: 賛成 ●: 反対 欠: 欠席

### 3月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

議案番号	件 名	金尾	平松	新倉	伊藤	森	森上	石井	石田	石部	三村	宮田好	小林	倉野	川上修	川上博	大月
議案第 40 号	令和4年度高梁市一般会計予算	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。※他の議案は全会一致で可決しました。



皆様の支持する議員の一般質問は、議案や政策を、また数字を確認するだけになつていませんか？議会放送などでチラックしてはいかがですか。

高梁市議会議員研修会を1月25日に催しました。今回は議場を会場として、「質問力で高める議員力・議会力」と題して、法政大学の土山希美枝教授によるオンライン形式での講演を拝聴しました。



# 学校・園の

## 落合幼稚園が閉園

落合幼稚園の閉園は、民間事業者が落合地区に「認定こども園」を令和6年度に開園する計画と併せ、事業者から要望書が提出されたことに伴い、市は就学前教育・保育方針に基づいて落合幼稚園の閉園の方針を決定したとの報告がありました。

議会では3人の議員が一般質問でも取り上げ、計画に対するものではないが、許認可の申請など具体化がされておらず、利用者や地域への説明が遅れているなどの指摘がありました。また、新たな開園に行政としてどのような支援を行うのか、今後の幼児教育の方向性についても取り上げられました。

# 再編の在り方を考える!

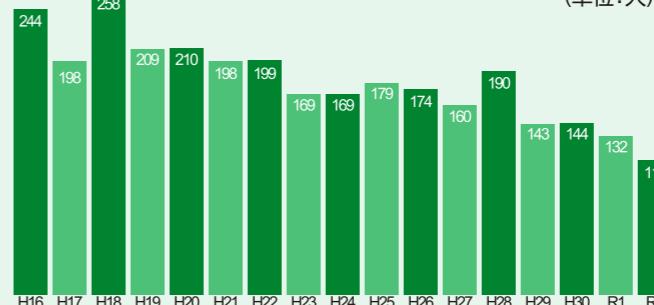
## デジタル化、人口減少 高梁市の教育の在り方をどうするべきか?

出生数の減少に歯止めがかかる現状のなか、有漢地域では、地域が主体となつた学校再編が検討され、落合地区では、民間事業者が主体となり、就学前の在り方が変わらうとしている。

高梁市に生まれ、育っていく子ども達のために何が良いのか、どうするべきなのか。

高梁市出生数の推移 (資料:厚生労働省「人口動態調査」)

(単位:人)



## 有漢義務教育学校に向けて

令和4年3月27日、有漢西小学校が150年の歴史に幕を下ろしました。在校生は、令和6年度までの3年間、有漢東小学校校舎とともに学習することになります。

2月の議会全員協議会では、有漢義務教育学校小学部の校舎設計図の説明がありました。

3月定例会の一般質問では新校舎(小学部)の教室の広さについて、当初から狭いのは児童数の増加を考えていなかないのではないか。既存の有漢生涯学習センター・旧町民体育館等の一体的な活用を考えるべきではないかと質問がありました。また、有漢中学校校舎も建設から33年を経ており、改修の必要性についても質問がありました。

執行部からは一貫的な改修を進めいくとの答弁がありました。今後も地域・保護者の意見に耳を傾けながら、令和7年度の義務教育学校の開校を目指してもらいたいと考えます。

令和4年2月15日委員会室において、2つの項目について総務文教委員会所管事務調査を行いました。

**学校現場における感染対策の現状と課題**  
衛生資材、備品、消耗品の購入について、また感染が確認された時の対応や感染が拡がり学級閉鎖となつた時のオンライン授業についての説明を受け、教育委員会との意見交換がなされました。

**有漢東小学校と西小学校の統合の進捗状況**  
地域から要望が出ていたスクールバスの乗降場所についてや制服購入の保護者負担についてや制服購入の保護者負担について、そして義務教育学校の特色ある教育課程とはどんなものなのかについて担当課からの説明を受けました。

**所管事務調査**  
議会ICT化推進特別委員会

**市内教育環境を調査**  
議会ICT化推進特別委員会



## ペーパーレス化に伴うフォローアップ 及びインターネットでの動画配信

高梁市議会では、ICT化推進の一環としてタブレット端末やグループウェア等のアプリの導入に伴い、令和4年3月議会からは議案や予算書等主な文書以外はPDFで配信されることになり、昨年11月に引き続き、議員同士でのフォローアップを行いました。また、議会情報の公開、市民に対する説明責任の観点から、インターネットによる動画配信の提案がなされました。県内ではすでに11議会が実施しています。

ケーブルテレビで放送されていることとの関係、議会だよりとの役割分担、一般質問や審議経過の全てを配信するのか、編集すべきかどうか等の課題について検討が行われ、今後も継続して検討することとなりました。

**総務文教委員会**  
議会ICT化推進特別委員会



## 倉野 嗣雄 議員

### 行財政改革待つたなし

#### 石部 誠 議員

##### 落合幼稚園の閉園について

##### 行財政改革について

**倉野** 職員の人数は合併当時よりどれくらい削減し、その効果はあつたのか。

**総務部長** 合併直後は、正規職員838名、非正規職員307名、全体で1145名。令和3年度は、正規職員626名、非正規職員486名、全体で1112名。人口数的にはあまり変わらないが、平成17年度、人件費総額7億円だったが、令和2年度は38億円になり、9億円程度のコスト削減につながっている。

**倉野** 人口減少が進んでいくなかで市職員の人数が削減できていない。類似団体との比較はどうか。

**総務部長** 同じ人口規模、産業構造の累計で分類した類似団体との比較は、高梁市は人口1000人

当たりの職員が15・76人。それに對して類似団体の平均職員数は10・18人で、1・5倍程度である。

**倉野** 合併当時より、公共施設の削減状況はどくか。

**総務部長** 平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画では、向こう40年間で総床面積40%の削減目標を掲げている。現在施設の再編計画を定めるべく調整中である。

**倉野** 現在取り組む行財政改革プランはどうか。

**総務部長** 平成30年豪雨災害対応等で遅れているが、補助金、公共施設、団体事務の見直し等、引き続き進めて行く。

**倉野** 現在取り組む行財政改革プランはどうか。

**総務部長** 平成30年豪雨災害対応等で遅れているが、補助金、公共施設、団体事務の見直し等、引き続き進めて行く。

**石部** 落合幼稚園の閉園は、民間事業者の方が「認定こども園」を令和6年に落合地区に開園する計画があることにより決定した。民間事業者の計画に反対するものではないが、現況では「認定こども園」は許認可の申請や、用地買収もされていない。建設物の設計図面や施工計画、その後の運営計画など手続きに必要な書面が出されていない。また現在の幼稚園利用者や地域に説明や相談が無いままに閉園を決めたのは問題ではないか。

**健康福祉部長** 経営計画書はまだ提示されていない。施設設備の概要として、建設場所は現在地の周辺であるという提示である。その後に、建設場所や敷地面積、受け入れ人数や職員対応など確認し検討した。今後説明会を行う。

情報提供だけで落合幼稚園の閉園は問題あり  
デジタル化が市民サービスの低下にならないようだ

##### 行財政改革について

**倉野** 職員の人数は合併当時よりどれくらい削減し、その効果はあつたのか。

**総務部長** 合併直後は、正規職員838名、非正規職員307名、全体で1145名。令和3年度は、正規職員626名、非正規職員486名、全体で1112名。人口数的にはあまり変わらないが、平成17年度、人件費総額7億円だったが、令和2年度は38億円になり、9億円程度のコスト削減につながっている。

**倉野** 人口減少が進んでいくなかで市職員の人数が削減できていない。類似団体との比較はどうか。

**総務部長** 同じ人口規模、産業構造の累計で分類した類似団体との比較は、高梁市は人口1000人

当たりの職員が15・76人。それに對して類似団体の平均職員数は10・18人で、1・5倍程度である。

**倉野** 合併当時より、公共施設の削減状況はどくか。

**総務部長** 平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画では、向こう40年間で総床面積40%の削減目標を掲げている。現在施設の再編計画を定めるべく調整中である。

**倉野** 現在取り組む行財政改革プランはどうか。

**総務部長** 平成30年豪雨災害対応等で遅れているが、補助金、公共施設、団体事務の見直し等、引き続き進めて行く。

**倉野** 現在取り組む行財政改革プランはどうか。

**総務部長** 平成30年豪雨災害対応等で遅れているが、補助金、公共施設、団体事務の見直し等、引き続き進めて行く。

情報提供だけで落合幼稚園の閉園は問題あり  
デジタル化が市民サービスの低下にならないようだ

##### 行財政改革について

**倉野** 職員の人数は合併当時よりどれくらい削減し、その効果はあつたのか。

**総務部長** 合併直後は、正規職員838名、非正規職員307名、全体で1145名。令和3年度は、正規職員626名、非正規職員486名、全体で1112名。人口数的にはあまり変わらないが、平成17年度、人件費総額7億円だったが、令和2年度は38億円になり、9億円程度のコスト削減につながっている。

**倉野** 人口減少が進んでいくなかで市職員の人数が削減できていない。類似団体との比較はどうか。

**総務部長** 同じ人口規模、産業構造の累計で分類した類似団体との比較は、高梁市は人口1000人

当たりの職員が15・76人。それに對して類似団体の平均職員数は10・18人で、1・5倍程度である。

**倉野** 合併当時より、公共施設の削減状況はどくか。

**総務部長** 平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画では、向こう40年間で総床面積40%の削減目標を掲げている。現在施設の再編計画を定めるべく調整中である。

**倉野** 現在取り組む行財政改革プランはどうか。

**総務部長** 平成30年豪雨災害対応等で遅れているが、補助金、公共施設、団体事務の見直し等、引き続き進めて行く。

**倉野** 現在取り組む行財政改革プランはどうか。

**総務部長** 平成30年豪雨災害対応等で遅れているが、補助金、公共施設、団体事務の見直し等、引き続き進めて行く。

情報提供だけで落合幼稚園の閉園は問題あり  
デジタル化が市民サービスの低下にならないようだ

##### 行財政改革について

**倉野** 職員の人数は合併当時よりどれくらい削減し、その効果はあつたのか。

**総務部長** 合併直後は、正規職員838名、非正規職員307名、全体で1145名。令和3年度は、正規職員626名、非正規職員486名、全体で1112名。人口数的にはあまり変わらないが、平成17年度、人件費総額7億円だったが、令和2年度は38億円になり、9億円程度のコスト削減につながっている。

**倉野** 人口減少が進んでいくなかで市職員の人数が削減できていない。類似団体との比較はどうか。

**総務部長** 同じ人口規模、産業構造の累計で分類した類似団体との比較は、高梁市は人口1000人

当たりの職員が15・76人。それに對して類似団体の平均職員数は10・18人で、1・5倍程度である。

**倉野** 合併当時より、公共施設の削減状況はどくか。

**総務部長** 平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画では、向こう40年間で総床面積40%の削減目標を掲げている。現在施設の再編計画を定めるべく調整中である。

**倉野** 現在取り組む行財政改革プランはどうか。

**総務部長** 平成30年豪雨災害対応等で遅れているが、補助金、公共施設、団体事務の見直し等、引き続き進めて行く。

**倉野** 現在取り組む行財政改革プランはどうか。

**総務部長** 平成30年豪雨災害対応等で遅れているが、補助金、公共施設、団体事務の見直し等、引き続き進めて行く。

情報提供だけで落合幼稚園の閉園は問題あり  
デジタル化が市民サービスの低下にならないようだ

##### 行財政改革について

**倉野** 職員の人数は合併当時よりどれくらい削減し、その効果はあつたのか。

**総務部長** 合併直後は、正規職員838名、非正規職員307名、全体で1145名。令和3年度は、正規職員626名、非正規職員486名、全体で1112名。人口数的にはあまり変わらないが、平成17年度、人件費総額7億円だったが、令和2年度は38億円になり、9億円程度のコスト削減につながっている。

**倉野** 人口減少が進んでいくなかで市職員の人数が削減できていない。類似団体との比較はどうか。

**総務部長** 同じ人口規模、産業構造の累計で分類した類似団体との比較は、高梁市は人口1000人

当たりの職員が15・76人。それに對して類似団体の平均職員数は10・18人で、1・5倍程度である。

**倉野** 合併当時より、公共施設の削減状況はどくか。

**総務部長** 平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画では、向こう40年間で総床面積40%の削減目標を掲げている。現在施設の再編計画を定めるべく調整中である。

**倉野** 現在取り組む行財政改革プランはどうか。

**総務部長** 平成30年豪雨災害対応等で遅れているが、補助金、公共施設、団体事務の見直し等、引き続き進めて行く。

**倉野** 現在取り組む行財政改革プランはどうか。

**総務部長** 平成30年豪雨災害対応等で遅れているが、補助金、公共施設、団体事務の見直し等、引き続き進めて行く。

情報提供だけで落合幼稚園の閉園は問題あり  
デジタル化が市民サービスの低下にならないようだ

##### 行財政改革について

**倉野** 職員の人数は合併当時よりどれくらい削減し、その効果はあつたのか。

**総務部長** 合併直後は、正規職員838名、非正規職員307名、全体で1145名。令和3年度は、正規職員626名、非正規職員486名、全体で1112名。人口数的にはあまり変わらないが、平成17年度、人件費総額7億円だったが、令和2年度は38億円になり、9億円程度のコスト削減につながっている。

**倉野** 人口減少が進んでいくなかで市職員の人数が削減できていない。類似団体との比較はどうか。

**総務部長** 同じ人口規模、産業構造の累計で分類した類似団体との比較は、高梁市は人口1000人

当たりの職員が15・76人。それに對して類似団体の平均職員数は10・18人で、1・5倍程度である。

**倉野** 合併当時より、公共施設の削減状況はどくか。

**総務部長** 平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画では、向こう40年間で総床面積40%の削減目標を掲げている。現在施設の再編計画を定めるべく調整中である。

**倉野** 現在取り組む行財政改革プランはどうか。

**総務部長** 平成30年豪雨災害対応等で遅れているが、補助金、公共施設、団体事務の見直し等、引き続き進めて行く。

**倉野** 現在取り組む行財政改革プランはどうか。

**総務部長** 平成30年豪雨災害対応等で遅れているが、補助金、公共施設、団体事務の見直し等、引き続き進めて行く。

情報提供だけで落合幼稚園の閉園は問題あり  
デジタル化が市民サービスの低下にならないようだ

##### 行財政改革について

**倉野** 職員の人数は合併当時よりどれくらい削減し、その効果はあつたのか。

**総務部長** 合併直後は、正規職員838名、非正規職員307名、全体で1145名。令和3年度は、正規職員626名、非正規職員486名、全体で1112名。人口数的にはあまり変わらないが、平成17年度、人件費総額7億円だったが、令和2年度は38億円になり、9億円程度のコスト削減につながっている。

**倉野** 人口減少が進んでいくなかで市職員の人数が削減できていない。類似団体との比較はどうか。

**総務部長** 同じ人口規模、産業構造の累計で分類した類似団体との比較は、高梁市は人口1000人

当たりの職員が15・76人。それに對して類似団体の平均職員数は10・18人で、1・5倍程度である。

**倉野** 合併当時より、公共施設の削減状況はどくか。

**総務部長** 平成28年度に策定した公共施設等総合管理計画では、向こう40年間で総床面積40%の削減目標を掲げている。現在施設の再編計画を定めるべく調整中である。

**倉野** 現在取り組む行財政改革プランはどうか。

**総務部長** 平成30年豪雨災害対応等で遅れているが、補助金、公共施設、団体事務の見直し等、引き続き進めて行く。

**倉野** 現在取り組む行財政改革プランはどうか。

**総務部長** 平成30年豪雨災害対応等で遅れているが、補助金、公共施設、団体事務の見直し等、引き続き進めて行く。

情報提供だけで落合幼稚園の閉園は問題あり  
デジタル化が市民サービスの低下にならないようだ

##### 行財政改革について

**倉野** 職員の人数は合併当時よりどれくらい削減し、その効果はあつたのか。

<

## 三村 靖行 議員

### 市街地の空洞化 どうするのか

人口減少対策について

平成30年7月豪雨災害  
復旧工事について

**三村** 近年、市街地の景観計画などにより空洞化が多く見られる。人口減少対策として建築費用の一部を補助しても流出を止めるべきではないか。

**市長** いくらかの支援措置は用意している。立地適正化計画のまちなか居住エリアも定め、居住エリアの密度を高めつつ、民間と情報を共有しながら進めていく。

**三村** 県南への流出対策として、土地単価が県南と同額以下となるよう補助すべきでは。

**市民生活部長** 総社市と比較して駅周辺や少し離れた分譲地単価は概ね同程度と認識している。若い世代の住宅助成制度の拡充を図り、マイホーム取得を支援していくたい。

**三村** 土木被害調査が2千件を超えたが、全ての市民からの要望に応えられたのか。

**土木部長** 被害状況、規模を確認し、土地の所有者等と協議のうえ申請しているが、申請時期に間に合わなかったものもあった。

**三村** 農地災害復旧工事を採択する時には十分に説明がなされているのか。

**三村** 災害は不幸であるが、大きな補助が受けられることを前向きに捉えて1件でも多く採択してもらおるようにお願いしたい。

## 森 和之 議員

### 小動物を介して命を慈しみ教育を

観光振興について

市長 高梁市にもBBQでのやぐらキャンプ場はある。利用者の一人は高まつてくると思うので、これから検討していく。

**森** 弥高山にもライブカメラの設置はできないか。

**産業経済部長** ライブカメラの設置された備中松山城の来場者数の動向も参考にしながら総合的な視点をもつて今後検討していく。

**森** 弥高山は井原市美星町、矢掛町からも交通のアクセスが良い、観光連携すれば、観光集客につながるのではないか。

**産業経済部長** 自然の織り成す魅力的な景観という共通点を生かして、お互いの観光客増加につなげるよう連携について協議検討していくたい。

**森** 高梁市の観光は若年層に弱い気がする。BBQのできるキャンプ場の整備やアウトドアアクティビティの整備が必要ではないか。

**市長** 以前取り組んだ経緯はあるが実現には至らなかつた。アウトドアによる誘客には適切にスピード感をもつて対応していく。

## 伊藤 泰樹 議員

### 「健幸都市たかはし」の 未来予想図は



都市計画道路などの  
整備予定について

主な道路の計画

計画年度	下町薬師院線	中原町新町線	南町旭町線
令和4年度	国の事業認可	用地交渉	測量設計 物件調査
令和5年度	路線測量等	工事着手予定	用地交渉
令和6年度	用地測量 補償物件算定	工事完成予定	工事着手予定
令和7年度	用地交渉		
令和8年度			工事完成予定
令和9年度	工事着手予定 (概ね5年で完成)		

高梁国際ホテルの今に至る  
経緯と今後について



幼・保・こども園、小・中・学校の  
制服の現状と課題認識について

シティプロモーションについて

**小林** 市が計画して住民説明を行った都市計画道路などの今後の整備予定と年次計画はどうなっているのか。

**政策監** 都市計画道路下町薬師院線等は市街地の形成機能や防災・減災機能の向上を目的として整備を行う。

**土木部長** 市道中原町新町線は歩道設置と対面通行ができる2車線道路を計画している。市道南町旭町線は現在、高梁中央病院前からJA付近を結ぶ計画を検討している。計画がまとまり次第、地元への説明を行いたいと思っている。

**小林** この3つの路線は非常に有用な価値の高い路線だと認識している。用地買収を含めて住民に寄り添つて交渉を進めてほしい。

**小林** 市が計画して住民説明を行った都市計画道路などの今後の整備予定と年次計画はどうなっているのか。

**政策監** 都市計画道路下町薬師院線等は市街地の形成機能や防災・減災機能の向上を目的として整備を行う。

**土木部長** 市道中原町新町線は歩道設置と対面通行ができる2車線道路を計画している。市道南町旭町線は現在、高梁中央病院前からJA付近を結ぶ計画を検討している。計画がまとまり次第、地元への説明を行いたいと思っている。

## 森上 昌生 議員

### ピースワンコ・ジャパンの危機管理

備中町西山地区のピースワンコ・ジャパンについて

**森上** 600頭を超える飼養犬の危機管理に関し把握しているか。

**市民生活部長** 危機管理マニュアル作成義務はないが、当該施設は独自作成していると聞いている。

**森上** 市はこのようなマニュアルを入手しているのか。

**市民生活部長** 県も市も内容は確認していない。

**森上** 随分無責任に聞こえるが、それでいいのか。市がもっと注意を持って当たるべきではないか。こうした施設に対する規制を市独自で設けるべきでは。

**市民生活部長** 多頭飼育に対する規制は、県の所管であり規制は県の方で行って頂く。県は他県の状況を見て条例制定も検討している。その動向を注視したい。

**市民生活部長** 県も市も内容は確認していない。

**森上** 環境基本計画では野良猫対策の記述は全くないが、野良猫問題は環境問題と捉えないのか。

**市民生活部長** 計画は高梁市環境政策審議会での議論により作成されたものとして理解を求める。市として野良猫を減らす施策については、飼養者が責任を持つて飼つて頂くよう、広報する。

**森上** 市はなぜ地域猫活動に対して積極的に関与しないのか。

**市民生活部長** これらの活動やTNR活動は活動団体が自主的に地域の理解を得て行うべきもので、県の支援を利用してもらいたい。

## 川上 博司 議員

人事費は総合的に捉えて改革しないと意味がないのではないか

### 財政運営について

**川上** 本市の職員数は、人口1,000人当たり職員数15.76人と全国平均、岡山県平均を大幅に上回っており、類似団体内順位は128位となっている。人件費中124位となっている。人件費について早急に改善すべきであるが、どのように対応していくのか。

**総務部長** 類似団体は人口と産業構造のみで分類されており、面積等の特殊な地域性が考慮されていないので、単純に比較できない。今後の対応については、強い危機感を持つて総人件費の抑制に努め、簡素で効率的な組織を作りながら、DXの推進、職員研修を通じて職員一人あたりの生産性を高めることにより住民サービスの向上に努める。

**川上** 経常収支比率が令和元年度においては、人件費の抑制、行政コストの削減に努めていき、少しでも経常収支比率を下げるようにしていきたい。

96.3%、令和2年度94.7%と非常に高く、政策的経費にまわせる財源がわずかで、財政的に厳しい状況である。今後経常収支比率を引き下げなければ対応できないのではないか。

**総務部長** 経常収支比率については、人件費と公債費が高止まりをしており、高い水準で推移しているので危機感を持っている。改善策としては、歳入歳出の両面から改革が必要であり、歳入面では、移住、定住の推進、企業誘致、ふるさと納税拡大などによる税収を確保する取り組みを推進するとともに、未収金の回収、不要資産の売却等に取り組んでいく。一方、歳出面においては、人件費の抑制、行政コストの削減に努めていき、少しでも経常収支比率を下げるようにしていきたい。



## 高梁川の整備計画の内容はどうが

### 河川整備計画について

**市長** 内水が排除できず浸水した箇所で、ポンプ設置や河道掘削など、市が対応できるところは行う。

**宮田** 一級河川高梁川水系中上流ブロック河川整備計画を県が公表した。高梁市内は、広瀬地区・玉川地区の延長2.8km、段町地区・阿部・近似地区の延長1km、田井地区の延長0.6kmの3か所が記載されているが、どのような内容なのか。

**市長** 計画の具体的な内容は公表されていないが、県では、整備計画とは別に、落合橋の右岸・左岸の堤防整備が進められる。河道掘削もこれまで以上に進められると認識している。

**宮田** 整備計画に記載のない浸水箇所の整備はどうなのか。



高梁川左岸から右岸を望む

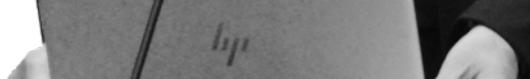
**新たに取り組み**  
今定例会から、会派による代表質問を一般質問の一環として行いました。

県内15市中現在10市が代表質問をされており、11番目の取り組みになります。試行期間として、これから1年かけて代表質問の在り方を研究していきます。今後市の施策の状況や方針などについて、より深い質問がなされるようになると期待されます。

### ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議を議決

本年2月24日、ロシアはウクライナに軍事侵攻した。

このことは、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かすものである。武力による一方的な現状変更は国際秩序の根幹を揺るがす明らかな国連憲章に違反する行為であり、断じて容認することはできない。よって、高梁市役所、各地域局にウクライナへの人道支援募金箱を設置し協力を求めています。



2022  
5

ご意見はこちらまで■高梁市議会事務局 高梁市松原通2043 ☎0866-21-0277

6月の定例会スケジュール		
6/9	木	本会議（議案の上程）
15	水	本会議（一般質問）
16	木	本会議（一般質問）
17	金	本会議（一般質問）
20	月	本会議（議案質疑）
21	火	委員会
22	水	委員会
23	木	委員会
28	火	本会議（採決）

※6月定例会への請願・陳情のしめ切り  
は6月2日(木)までです

※日程は変更となる場合があります。正  
式な日程は決まり次第、ホームページ  
でお知らせいたします。

## 政治家の寄付は禁止! 有権者が求めることも 禁止されています!

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



### 編集

議会広報公聴特別委員会						
委員	委員	委員	委員	委員	委員長	副委員長
員	員	員	員	員	伊藤泰樹	
平松久幸	新倉淳	金尾恭士	石井聰美	石田芳生	森和之	



## 新高梁人名録

みさわ すすむ  
**美澤 進** 氏

美澤進先生顕彰コーナー

神奈川県横浜市と高梁市川上町は深い絆で結ばれています。架け橋となつている方が美澤進氏。氏は、1849（嘉永2）年現在の高梁市川上町三沢に生を受け、14歳で隣村の阪谷朗廬が開いた漢学塾・興譲館に学びました。その後東京の三叉学舎で英語を学び、その学習の成果も現れ、福沢諭吉の慶應義塾に入学し、「自由」「人間の平等」「國家の独立・経済」について深く学びました。

1882（明治15）年33歳になつた美澤氏は、福沢諭吉の推薦で、創立間もない横浜商法学校（現横浜商業高校・横浜市立大学）の校長として赴任します。美澤氏の指導

力で横浜商法学校は年を追うごとに入学者も増え、商都横浜を担う人材を輩出する学校に育て上げました。

校長在職約40年、75歳で亡くな  
るまで、時には校長でありながら教壇に立ち、生徒に経済の仕組みを教えました。現在も美澤氏の教学精神は受け継がれ、横浜市の経済界を担う横浜商業高校・横浜市立大学の卒業生に生き続けています。横浜商業高校・横浜市立大学の同窓会は、美澤氏の教え「人と進んで交わり共に資質を高めよ」から「進交会」と名されています。

川上総合学習センターの改修に合わせて、3月に「美澤進先生顕彰コーナー」が設置されました。

今号の表紙は、春の交通安全運動期間中の1コマです。吉備国際大学シャルム岡山高梁の選手をはじめ、地域の老人クラブや交通安全母の会、PTA等各種団体の方々のご尽力によって通学時の児童、生徒の安全が守られています。

シャルムランドセルカバーを付けた1年生の手を、年上のお姉ちゃんが手添え通学する姿は、見守る方に感動を与え、小学校生活が始まつたばかりで不安でいっぱいの1年生に安心を与えたに違いありません。

お姉ちゃんに手を引かれている間に満開の桜は葉桜になり、新緑の美しい季節となりました。春は命の溢れる季節ですが、海の戦火によって破壊された都市や都市を彩っていた樹木が黒焦げになってしまいます。目を覆いたくなる映像が日々ニュースなどで報道されている今年の春は、例年通りに新緑をみて幸せな気持ちになれることは自分だけでしようか。（森和之）



お姉ちゃんに  
手を引かれ  
る

目に映る自然の木々から季節を感じるのは人誰しも同じだと思います。

議会だより50号を編集している間に満開の桜は葉桜

あ  
と  
か  
き